

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点)

第 36 週 平成30年9月3日 ~ 平成30年9月9日

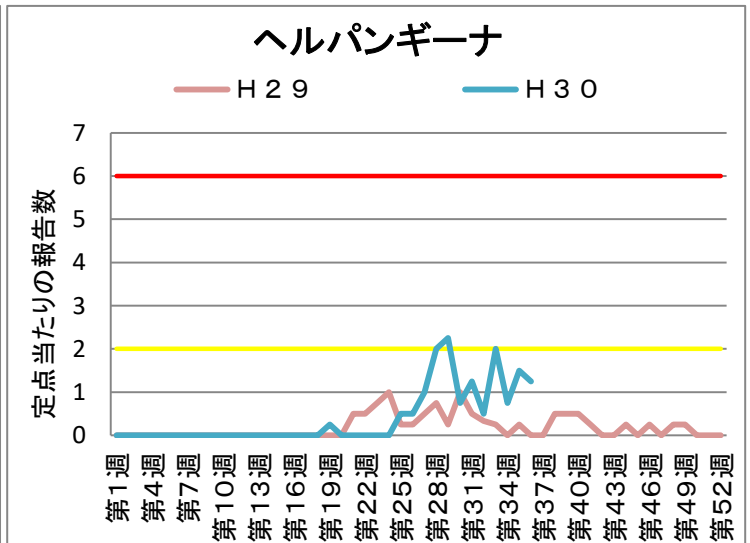
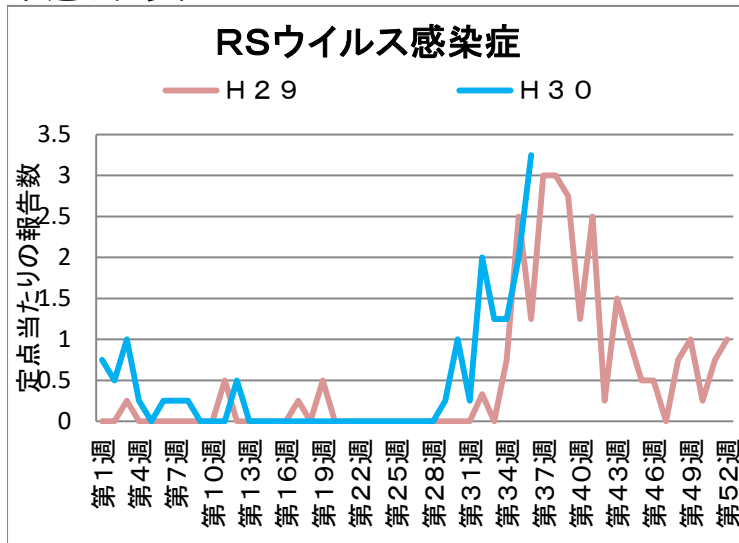
今週のコメント

○ RSウイルス感染症の報告数は、先週よりも増加しています(定点当たり3.25)。RSウイルスは咳風邪の原因となり、大人から子供まで感染しますが、特に乳幼児や基礎疾患のある子に感染すると、肺炎や細気管支炎など重篤となることがあり注意が必要です。感染対策としてマスクの着用や咳エチケット、手洗いなどが大切です。

○ ヘルパンギーナの報告数も、引き続き高めで推移しています(定点当たり1.25)。

○ 厚労省からの9月14日付の情報でも、引き続き全国的に手足口病、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症および風しんが流行しているとのこと。

今週のグラフ



* 赤線 流行警戒基準値です 黄線 警戒継続基準値です

今週の報告状況

| 疾病名 | 定点当たりの報告数 | 疾病名 | 定点当たりの報告数 |
|---------------|-----------|----------|-----------|
| インフルエンザ | - | 伝染性紅斑 | 0.25 |
| RSウイルス感染症 | 3.25 | 突発性発しん | 0.75 |
| 咽頭結膜熱 | - | ヘルパンギーナ | 1.25 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 0.75 | 流行性耳下腺炎 | 0.25 |
| 感染性胃腸炎 | 3.25 | 急性出血性結膜炎 | - |
| 水痘 | 0.25 | 流行性角結膜炎 | - |
| 手足口病 | 1.75 | | |

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

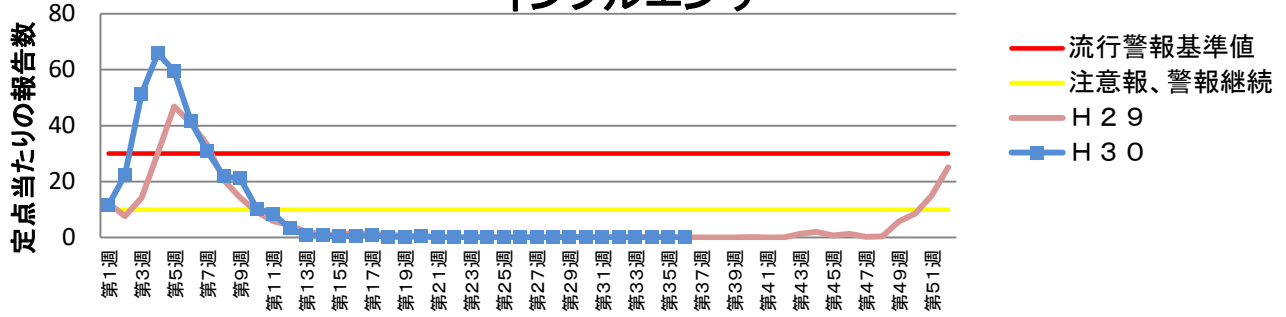
* 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所
小児科定点(インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所
眼科定点 : 1箇所

参考資料等

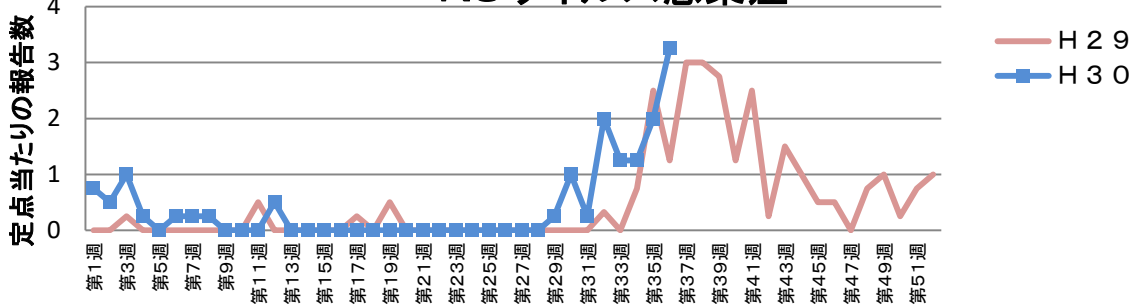
報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

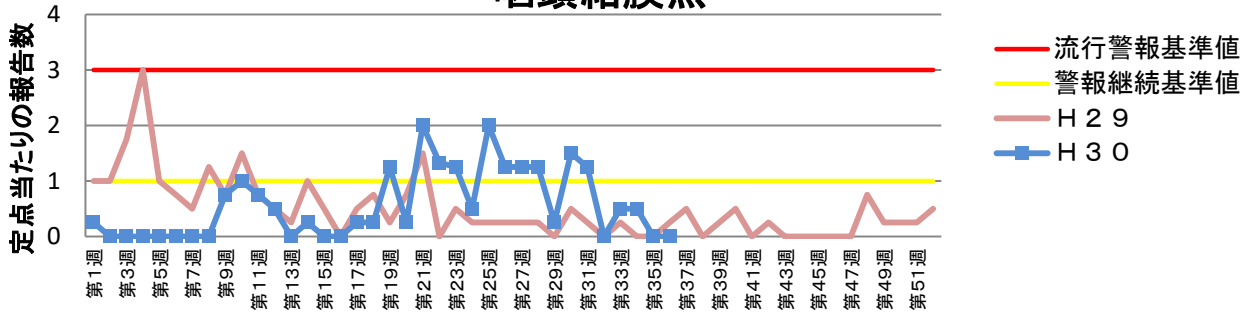
インフルエンザ



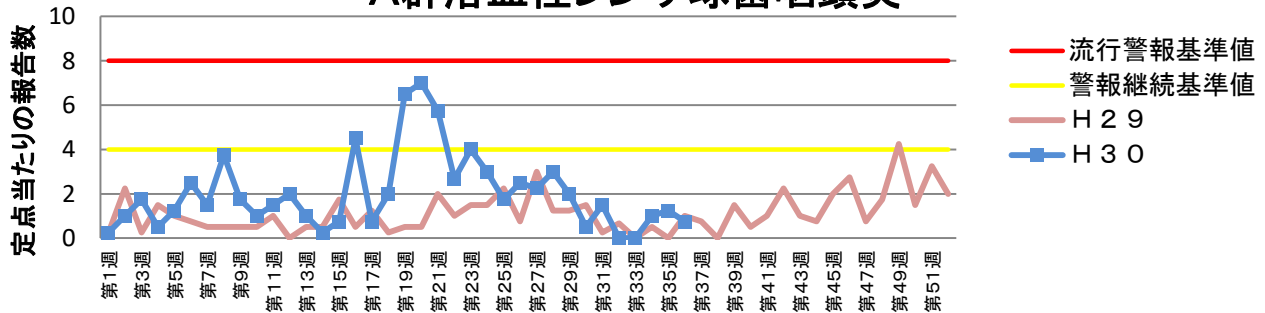
RSウイルス感染症



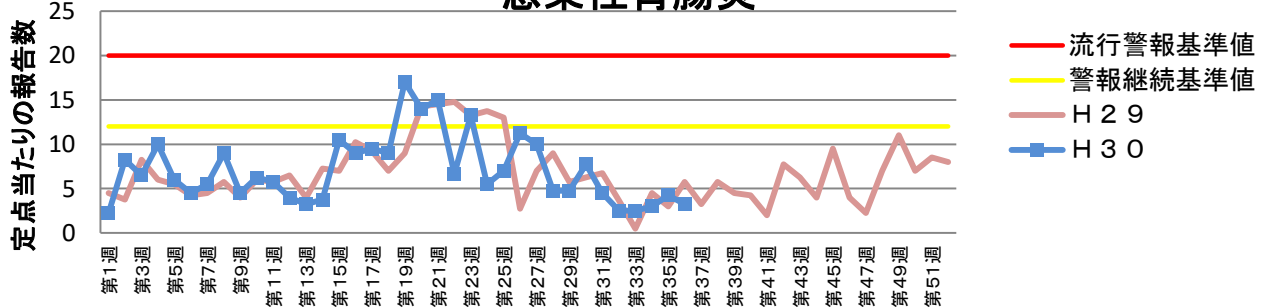
咽頭結膜熱



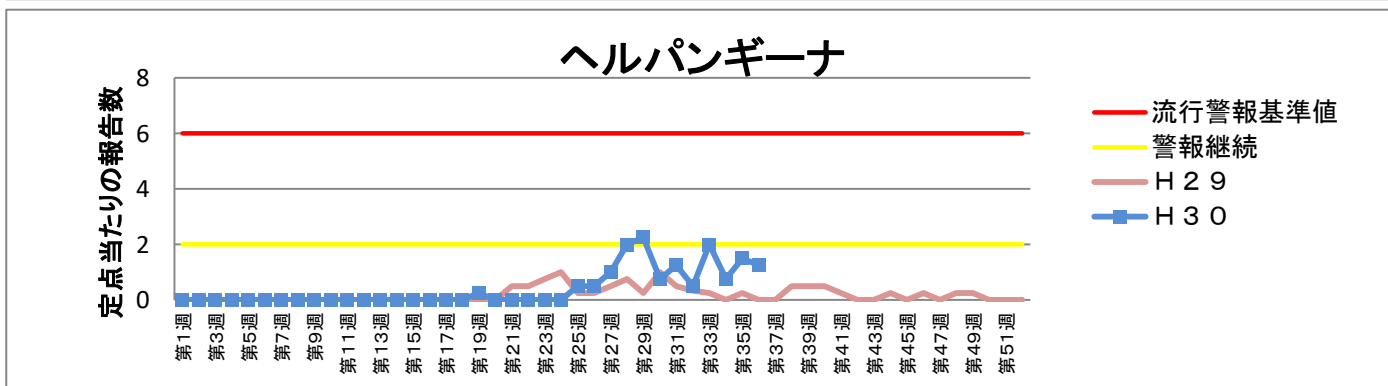
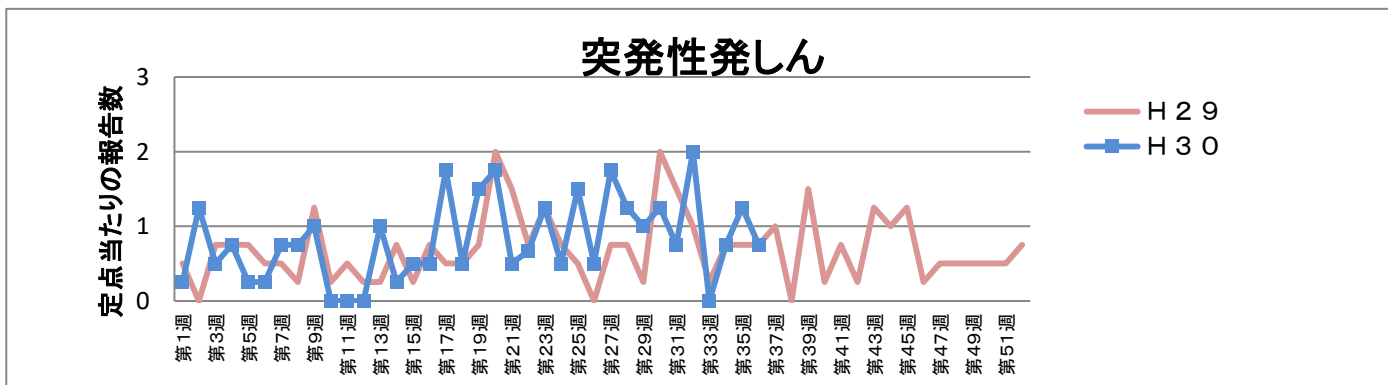
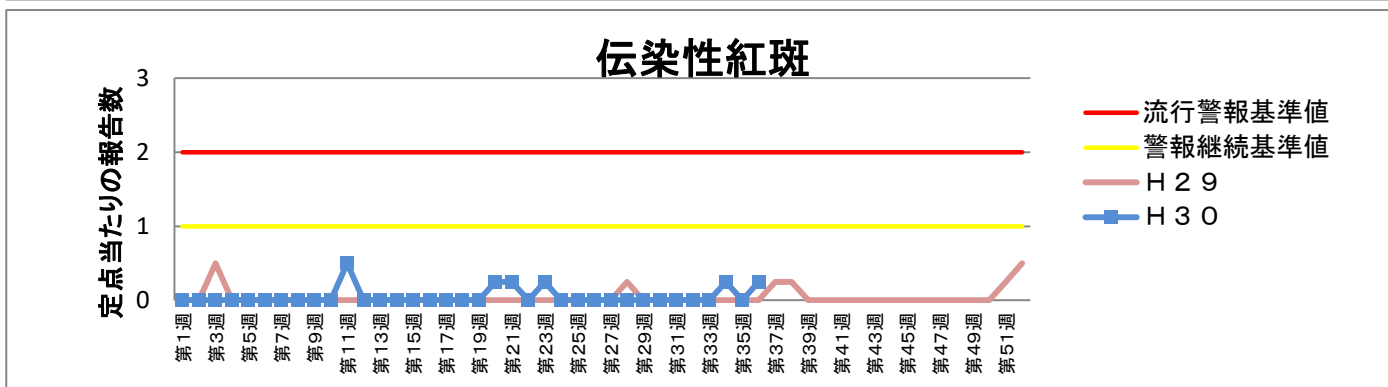
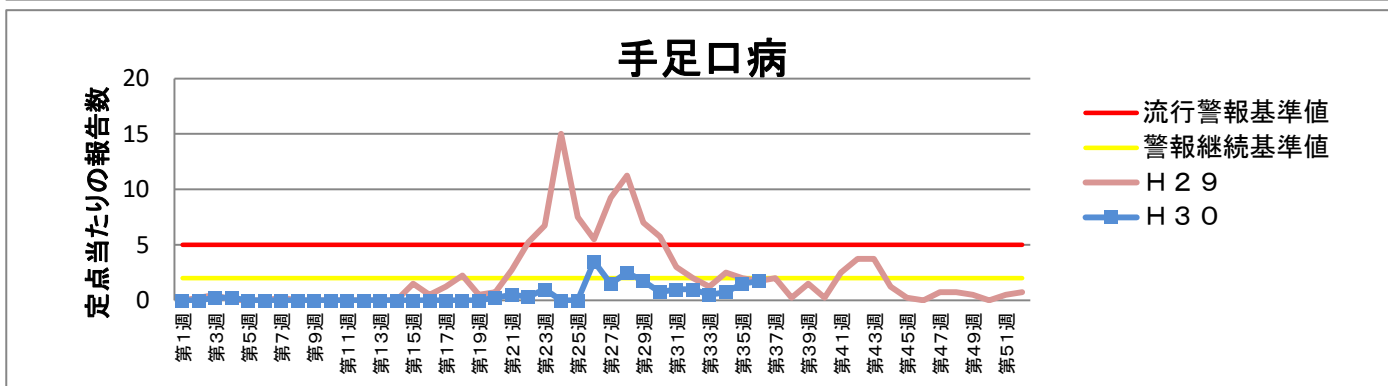
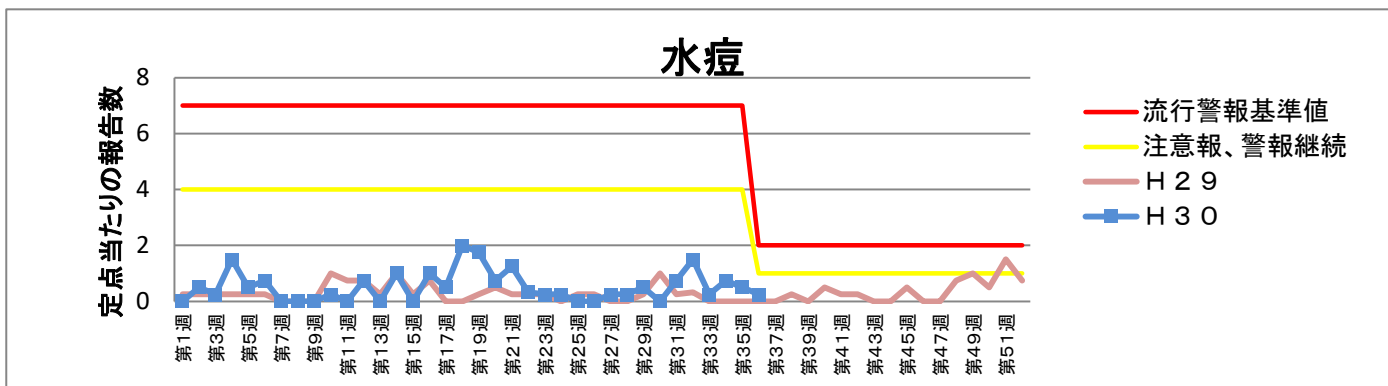
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎



乙訓保健所管内定点当たり報告数推移



乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

